



森田 義弘 議員

ごみの減量について

Q 家庭ごみの有料化について、本町の考えは。

A 町長 ごみ袋代は、現在、製造・流通の実費を負担いただいているが「有料化」は、リサイクル費用など、ごみ処理費用の一部も排出量に応じて負担いただく制度である。ごみの減量は、令和4年に供用開始予定の知多南部広域環境センターの維持管理費の軽減に繋がる。なお、有料化は、全国で63・8%の自治体が導入しており、減量効果も実証されている。令和3年4月に導入する方向で進めていきたい。

Q 有料化導入に向けて、今後のスケジュールは。

A 経 夏から秋にかけて、順次、地区説明会などにより周知していく予定である。ごみ袋は有料化に合わせてデザインを変更して、令和3年2月頃までには、販売を開始する必要があると考えている。

Q 有料化の対象は。

A 経 地域のごみ集積所に出す

「もやさなければならぬごみ」を対象とし、1ℓ当たり1円を目安に有料とする。紙類などの資源用のごみ袋は有料化しない。

Q 有料化による手数料収入を住民に還元できないか。

A 経 手数料収入は、ごみ袋の製造・流通費のほか、ごみの資源化、不適正排出防止などの財源として活用する。また、地区ごみ減量活動報償金の充実や新たな地区支援事業の創設などを検討していく。

Q 資源化の制度充実の内容は。

A 経 市原浄化センター跡地に刈草・剪定枝の資源回収拠点を整備していく予定である。



▲ エイゼン臨海工場刈草置き場



石川 義治 議員

下水道事業の健全経営を

全国的に、下水道の経営環境は、人口減少などに伴うサービス需要および、使用料収入の減少、施設の老朽化に伴う更新需要の増大などにより、急速に厳しさを増している。

令和2年度より企業会計を適用

Q 下水道事業に公営企業会計を適用するとうなるのか。

A 建 経営状況と財政状況を正確に把握することが可能となる。

Q 作成された損益計算書では、令和2年度の経営成績の見込みは。

A 建 一般会計から下水道事業への繰入金約3億6500万円を含め、約5600万円の純利益を見込んでいる。

Q 総額約300億円となる下水道資産の更新費用は、ある程度、内部留保できるのか。

A 建 現在、下水道使用料で、減価償却費が賄えていない。一般会計からの繰入金で企業債を償還

している状況であり、将来の更新費用までは確保できていない。

Q 今後、下水道事業をどのように経営していくのか。

A 町長 令和2年度、10年間の中長期的な経営指針となる「経営戦略」を策定し、正確な現状把握という土台の上、中長期的な視点に立ち、事業経営を行っていく。

Q 財政側の調整として下水道使用料の改定も考えていくのか。

A 建 今のところ考えていないが、財源不足が明らかになった場合は、改定も視野に入れた検討を行う。



▲ 衣浦西部浄化センター



南 賢治 議員

まちづくりに対し町の関わりは

現在事業を進めている駅東の区画整理は、総合計画に明記された「武豊らしい」中心市街地の活性化の実現に向け、計画的に施行されているものと考えている。

Q 区画整理で特に配慮された点は。

A 建 公共用地の適切な配置や、また、土地利用の誘導を図るため、用途地域を工業地域から、近隣商業地域へ変更を行った。

Q どのような形で「賑わいづくり」を進めていく予定か。

A 建 まずは、駅を利用して武豊へこられる方々を、町内の各スポットなどへ誘導できるような、仕掛けづくりが出来ればと思っている。

また、駅前の町有地や区画整理地内の公園で、地元組織などがイベントを開催するか、駅前の町有地に、拠点となる施設を造るなどして、民間の活力導入を図って、賑わいづくりの継続的な取り組み

などを、進めたいと考えている。

Q 周辺交通網整備について検討するとの事だが、駅前ロータリーには大型バスも乗り入れ可能か。

A 建 ロータリーについては、公共交通機関の接続として、コミュニティバス、およびタクシーや普通自動車の乗り入れを計画した。

Q 武豊の駅前として駅利用者のための何か施策はあるのか。

A 建 鉄道駅を利用される方の利便性向上のため、駅前広場内に「雨除けの屋根」を設置することを検討している。



▲ 名鉄知多武豊駅東区画整理計画図



鈴木 一也 議員

武豊中央公園(防災公園)について

野菜茶業研究所跡地で、武豊中央公園の第1期工事が進んでいる。本町で初となる大規模な防災機能を備える公園の活用方法や機能は。

Q 令和2年夏にも一部供用開始の予定だが、平時や防災時の使い方を、どう想定しているか。

A 町長 平時では、お子さんから高齢者、家族連れが憩いの場として自由に使い、ランニングやウォーキングなども楽しめる。また、防災機能を活用した訓練なども想定している。

発災時では、周辺住民の一時避難場所として、また、避難者の生活拠点や学校などの一次開設避難場所や自宅などに移った後に、自衛隊などの災害援助活動の拠点として、さらに、援助活動の終了後には、応急仮設住宅の建設地としての利用が可能と考える。

Q 誰にでも優しい、ユニバーサルデザインを取り入れているか。

A 建 多目的トイレのオストメイト対応、看板への英語表記や視覚的に分かりやすいピクトサイン表示とした。また、条例などの公園施設基準に基づき、バリアフリー化についても設計に反映させた。

Q 町の南北にも防災拠点の整備が必要と思うが。

A 建 防災機能を持つ公園を整備するのか、既存の施設に機能を持たせるのか、地域の現状を精査し検討する。



▲ 武豊中央公園の工事風景



石原 寿朗 議員

さらなる町の魅力向上を

人口減少社会に向けて、新たな工業団地を整備して、雇用先の確保を推進すべき。

Q 地元就職先があることは、人口減少に向けた対策となる。富貴地区南部や（仮称）武豊北インターチェンジ周辺など、物流に恵まれた地区に工業団地整備を進めようか。

A 町長 現在、第6次総合計画を策定中である。雇用創出や税収確保などの観点から、新たな工業団地などの整備は重要な課題と認識しており、富貴地区南部や武豊および武豊北インターチェンジ周辺を工業団地などの検討地域と位置付け、多面的に慎重な検討を進めていく。

Q 若い労働力が地元採用できるのは魅力だが、中学生意識アンケートで、武豊町で暮らしたい、との回答が減少している。まちの魅力向上をどのように進めるか。

A 企 まちの暮らしやすさや文

化・産業など、多くの魅力を町内外に発信するなど、シニティブロモーションの推進を進めていく。

Q 町民意識調査では「医療・福祉が充実したまち」が希望する将来イメージのトップだが、半田市民病院が5年後に移転することで、多くの患者が移動の不安を抱えている。町としての対策は。

A 企 コミュニティバスとの接続など、関係機関との連携を図り、具体的対応について検討していく。



▲ 工事の進む（仮称）武豊北インターチェンジ



青木 宏和 議員

住民対話集会でのご意見を問う

「コミュニティバス「ゆめころん」について、住民の方からのご意見・ご要望を行政に確認する。」

ルートの逆回りを

Q ルートの逆回りについては、現在のダイヤを交互に運行すれば、逆ルートが可能だと思いが考えは。

A 総 現在の一方方向によるルートについては、確かに不便であるというご意見があるが、一方で、わかりやすく乗りやすいというご意見もある。

慎重な議論が必要である。

逆ルートに近い新たな路線を

Q 屋内温水プールの開設に合わせて、接続タクシーのルートを利用した逆ルートに近い新しい路線を考えては。

A 総 屋内温水プールの利用者の利便性を高めるために、コミュニティバスの新たな路線を追加す

ることは必要であると考え。財政状況や利用者の利便性などを検討し、地域公共交通会議に図りたい。

バス停の付近では徐行を

Q バス停の近くでは徐行し、乗りたい方が近くにいる場合は停車すべきだと思いが考えは。

A 総 乗車希望者がわかるようであれば、停留所にて停車するように運行事業者へ指導する。



▲ 武豊コミュニティバス「ゆめころん」



鳥居 美和 議員

認知症の方に寄り添う支援を！

Q 認知症は、誰もがなりうるものです。「認知症かな」と心配している方、また、診断された本人や家族は、不安が大きいと想像されます。本人はもとより家族に対しても、社会が寄り添う姿勢が重要と考えます。

Q 初期の認知症を疑われる場合の相談窓口や相談体制は、どうなっていますか。

A 福祉課および、社会福祉協議会、地域包括支援センターの窓口で受け付けている。また、電話による相談は、社会福祉協議会、地域包括支援センターで24時間の受付体制を整えている。

Q 「武豊町認知症ケアパス みんなの認知症サポートガイド」は、どのようなものですか。

A 福祉課 認知症の症状ごとに、本人や家族を支援するための医療や、介護な



どの各種サービスを紹介し、適切なサービス利用につなげることを目的に作成した。福祉課の窓口をはじめ、町内の医療・介護の関係機関においても配布を依頼している。

Q 認知症の人に、やさしい地域づくりの取り組みは、どうなっていますか。

A 町長 認知症への理解を深めるための普及啓発として、認知症サポーター養成講座を始め、認知症を知る講演会の実施などにも取り組んでいる。



久野 勇 議員

高齢化社会対策について

高齢化社会が進む中、自助・共助・公助として、それぞれの対策について何があるのかを質問した。

Q 高齢化の推移と課題は。

A 福祉課 現在、65歳以上の高齢化率は、24・87%、75歳以上の後期高齢者は、12・4%で、今後も増加傾向にあると考えられる。課題としては、後期高齢者人口の増加は、要介護認定者や日常生活への配慮、支援の必要な方が増えることが懸念される。

Q 高齢者への具体的な取り組みは。

A 福祉課 たけとよくらし応援隊による日常生活支援、地域を巡回する事業者と高齢者見守り体制の協定締結、認知症にならないための事業実施などに取り組んでいる。

Q 憩いのサロンへの支援、課題は。

A 町長 予算的支援を始め、事業の安定運営に向けた支援、各サロン間の調整、各種行事に関する

支援を行っている。課題としては、運営者の高齢化などがあげられる。

Q 憩いのサロンの目的から健康寿命の延伸が大切と考えるが、具体的な取り組みは。

A 福祉課 サロンでは、フレイル予防出前講座を行い、正しい食事・規則正しい運動・積極的な社会参加などを紹介し、健康寿命の延伸に繋げている。また、新たに開所を予定している「玉東ホテルサロン」では、自分の事は自分でやる事や、音楽療法を取り入れるなど、新たな取り組みを予定している。



▲ 憩いのサロン体操風景



櫻井 雅美 議員

災害時、医療体制の流れについて周知を！

医療体制の流れ&潜在看護職活用

Q 本町災害拠点病院で確保できる医師・看護師の人数は。

A 福 二次救急病院である杉石・石川病院2力所合わせて、診療時間内は医師7名、看護師50名ほど。診療時間外は両病院とも医師は各1名、看護師は半数ほどの配置と聞いている。

Q 災害時の治療を必要とする人に対する対応の流れは。

A 総 ①災害本部設置。②町内11力所の医療機関から医師が保健センターに到着し応急救護所設置。また、4力所医療機関（榊原整形・ちゅうや整形・すこやか・渡辺医院）が安全確認後開院し、トリアージと応急処置。③中等症患者と判断された場合は二次救急病院（杉石病院・石川病院）または災害指定病院へ搬送。④入院を必要とする患者は災害拠点病院（半田・知多厚生・西知多総合病院）へ搬送。⑤受け入れ不可能な場合は臨時的

医療施設SCU（半田運動公園）から名古屋空港、さらに広域医療搬送の予定。

Q 県災害拠点病院がない本町において、災害時潜在看護職活用の研修の継続と受講者の登録が必要ではないか。

A 町長 災害対応研修会の受講者11名には資格技能の活用について概ね前向きな回答をいただいている。ボランティアとして社会福祉協議会に登録し、発災時にはワンチームとなって活動いただくことをイメージし、前向きに検討していきたい。



富貴地区には応急救護所がないため、設置に向けての検討と、災害時の医療体制の流れ・医療機関の明示と周知をしていただきたい。



野田 佳延 議員

教職員の多忙化の解消を

教職員の労働条件の改善を

Q 教職員の過労死・長時間労働が問題になっています。教職員の労働条件の改善は緊急課題であり、子どもたちへの教育条件の改善につながります。

教職員の多忙化解消のために、具体的改善策は。

A 町長 本町の教職員の多忙化の解消に向けた対策については、昨年4月「部活動ガイドライン」を策定。

また、今年度より、教職員の勤務の適正化に向けた学校閉校日を設定し、8月に7日間、勤務しない日を設けました。

昨年7月からは、一定の時間になると自動音声による、電話対応となる留守番電話を導入し、学校における勤務状況の改善を図っています。

Q 部活動で教員が顧問になる義務はなく、強制することはできませんが、実態はどのようになっていますか。

A 教 部活動の顧問については、すべての教職員にお願いしています。教職員の事情に合わせ複数の顧問制で行っています。

必要な場合は、外部からの指導員を配置しています。

Q 適正な勤務時間の管理のため、タイムカード、ICTの活用を考へてはいかがですか。

A 教 教職員の勤務時間を客観的に把握する方法については、ICTやタイムカードの活用など、文部科学省からも客観的に勤務時間を把握するよう通知があります。

近隣市町の動向を調査し、検討を進めたいと思います。





本村 強 議員

多胎児家庭への支援に つなげていく

1歳足らずの子どもが次々に泣き出し、寝る間もほとんどない。重度の産後うつになり、平成30年1月に、生後11か月の三つ子の次男を床にたたきつけて死亡させてしまった痛ましい事件。裁判で浮き彫りになったのは、多胎育児の過酷さと不十分な支援体制であった。出生数に占める多胎児の割合は、不妊治療の普及もあり、平成30年は2・0%と増加している。

未来を担う大事な赤ちゃん。産み育ててくれるお母さん、お父さんのご苦労を察しながら、行政として差し伸べる手立てはないものかと痛切に感じ「多胎児家庭への支援の必要性について」質問する。

Q 妊娠、出産、産後育児期の支援の状況は。

A 町長 妊娠期には「フレッシュパパ・ママ教室」「妊娠8か月サポートコール事業」、出産後は「お元気ですか訪問」「産後ケア事業」を実施。他にも乳幼児への健康診

査・歯科健診、育児相談などを行っている。

多胎児家庭に初の国の支援事業

Q 国の新年度予算で、多胎家庭に「育児サポーター派遣事業」開始の予算配分をするとのことだが、どう対応するのか。

A 福 多胎児家庭は外出が難しいなどの問題を抱えており、孤立しがちになる。「育児サポーター」の派遣の必要性は認識している。町の「子育て支援ヘルパー派遣事業」を国の施策に合わせるなど、多胎児家庭への支援につなげていく。



来で! 聞いて! 議会傍聴

本会議場で行われる議会は、どなたでも傍聴することができます。また、各委員会は、委員長の許可が必要となります。

次回定例会日程(予定)

5月 25日(月)	請願・陳情提出期限
6月 2日(火)	9時 開会
4日(木)	9時 一般質問
5日(金)	9時 一般質問
12日(金)	9時 議案質疑
15日(月)	9時 総務企画委員会
15日(月)	14時 建設経済委員会
16日(火)	9時 文教厚生委員会
19日(金)	14時 採決

一般質問の放送予定
ケーブルテレビ(CCNC)
6月13日(土)・27日(土)
午前9時から

地方自治体広報誌アプリ



【マチイロ】

「議会だより たけとよ」が掲載されています。

1月21日(火)、1月22日(水) 建設経済委員会視察報告は紙面の都合により、次号に掲載します。

●議会に関するご意見を募集しています

〒470-2392 武豊町字長尾山2番地
TEL:(0569)72-1111 (内線208)
E-mail:gikai@town.taketoyo.lg.jp

※応募に当たっては、必ず、住所、氏名、連絡先(電話・メールアドレス)を記入してください。

掲載時は、ご希望によりイニシャル表示とします。また、写真・ご意見とも掲載時に編集することがあります。

編集後記

令和2年第1回定例会は新型コロナウイルスへの対策に配慮し、一部、一般質問の内容が調整され会議時間の短縮に努める形で開催されました。

3月、武豊町では各種イベント、各地区の春の祭礼は中止や延期が決定されました。また小中学校の臨時休校や卒業式も形を変えての開催となりました。別れと新たな旅立ちの時期と重なり影響はとても大きなもの、淋しいものとなりました。

私たちができる対策はマスクの着用やうがい、手洗い消毒の徹底、密閉・密集するところに長くないことぐらいしかありません。

一日も早く普通の生活に戻ることを願わずにはいられません。
(青木 信哉)

